

令和4年4月

各 位

東大阪市上下水道局

本市水道工事における水道配水用ポリエチレン管の採用について

平素は、本市水道事業にご理解、ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

標記の件につきまして、本市では一昨年から水道配水用ポリエチレン管の試験施工を実施してきましたが、この度、令和4年度から水道配水用ポリエチレン管を本採用することとしましたのでお知らせします。

本市では、水道施設の老朽化による漏水などの事故発生や南海トラフ巨大地震などの様々な災害への対応が求められる中、安全な水を安定して供給するために、老朽化した水道施設・水道管の更新および耐震化を計画的に推進しているところです。

一方で、水需要減少に伴う料金収入の減少及び人材・技術力の確保など様々な課題が顕在化しており、経営環境は厳しさを増している状況です。これまで、本市では水道管の材料に耐久性・耐震性に優れたダクタイル鋳鉄管(耐震継手管)を使用してきましたが、「ひがしおおさか水道ビジョン2030」においても、必要な財源確保の観点から建設コストの低減が求められており、さらに施工性の向上およびコスト低減が期待できる「水道配水用ポリエチレン管」の採用に向けた検討を行ってきました。

その結果、下記のとおり採用することとなりましたので、各事業者様におかれましては、水道工事に係る資格取得、技能講習会への参加を引き続き積極的に取り組んでいただくとともに、本市水道工事の品質向上と効率的な事業推進にご協力いただきますよう、あわせてお願い申し上げます。

#### 記

1. 採用管種 : 水道配水用ポリエチレン管
2. 採用口径 :  $\phi 75 \sim \phi 150$
3. 適用工事 : 令和4年4月以降に発注する工事
4. 施工に必要な資格 : 配水用ポリエチレンパイプシステム協会またはそれに準ずる各メーカーの講習会の修了証(受講証)が必要となります。  
なお、電気融着方式以外の作業(ポリエチレン管用のメカニカル接合・鋳鉄サドル付分水栓)の修了も必要となります。

東大阪市上下水道局 水道施設部  
水道整備室 計画推進課